

2012 年 2 月 15 日

【お知らせ】

報道機関各位

生物多様性協働フォーラム盛況に閉幕

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区 社長:水野俊秀)と兵庫県立人と自然の博物館(兵庫県三田市 館長:岩槻邦男)、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク(大阪府大阪市住吉区理事長:山西良平)は、2012年2月12日(日)に兵庫県公館(神戸市中央区)で「生物多様性協働フォーラム～関西から発信する多様な主体による広域連携に向けて～」の第3回(全3回)を開催しました。本フォーラムは、「社会の『つながり』を活かした取り組みの展開」をメインテーマに、関西で活発な取り組みを進める企業や自治体を中心として議論を展開する場として、毎回多数の方にご参加いただきました。最終回となる第3回は事例を中心とした講演と対談セッションの2部構成で開催、450名を超える方々にご来場いただき盛況のうちに閉幕しました。

講演では、まず兵庫県立大学教授/兵庫県立人と自然の博物館副館長 中瀬勲氏より、「行政の仕組みを活用した企業の森づくり」と題して、兵庫県を中心とした企業の取り組み事例を紹介いただきました。続いて、結・社会デザイン事務所 代表菊池玲奈氏より、琵琶湖いきものイニシアティブの活動を中心とした取り組みを、次いで株式会社ブリヂストン彦根工場総務・環境保全課長 山田保之氏から「地域での環境保全活動の中で企業の果たせる役割」について、自社の取り組みを講演いただきました。

対談セッションでは、井戸敏三兵庫県知事(関西広域連合長)と嘉田由紀子滋賀県知事(関西広域連合広域環境保全担当委員)に参加いただき、広域連携の視点から、関西における生物多様性戦略の展望について活発な意見が交わされました。

最後に、環境省自然環境局長 渡邊綱男氏より、本フォーラムに対するコメントをいただくとともに、当社政策研究事業本部 西田貴明より、今後の展開・方向性と2012年度以降の展望を提示し、フォーラムを閉幕しました。

限られた時間ではありましたが、会場からも積極的な意見をいただき、「多様な主体による参加と協働」に向けた期待や関心の高まりを感じさせるフォーラムとなりました。

3回にわたるこの度のフォーラムの成果を踏まえ、2012年度以降もさらに取り組みを進め、関西における生物多様性の協働を推進してまいります。



以上

【本件に関するお問い合わせ】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
政策研究事業本部(大阪) 研究開発第2部 西田 貴明
〒541-8512 大阪府大阪市中央区今橋 2-5-8 トレードピア淀屋橋 19F
TEL:06-6208-1244 E-mail:t.nishida@murc.jp

【参考資料】

◆第3回フォーラムの開催概要

主催	兵庫県立人と自然の博物館
共催	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク 兵庫県立大学自然・環境科学研究所
協力	環境省、生物多様性民間参画パートナーシップ、大阪市立自然史博物館、 滋賀県立琵琶湖博物館、財団法人ひょうご環境創造協会、生物多様性かんさい、 株式会社竹中工務店、株式会社三菱東京 UFJ 銀行
後援	公益社団法人関西経済連合会、関西広域連合
日時	2012 年 2 月 12 日(日)14 時 00 分～17 時 30 分
会場	兵庫県公館 大会議室（神戸市中央区下山手通 4-4-1）
参加費	無 料
プログラム	
事例紹介	①行政の仕組みを活用した企業の森づくり－兵庫県の事例－ 【講師】兵庫県立大学教授/兵庫県立人と自然の博物館副館長 中瀬 勲 氏 ②個性を活かす、ネットワークを活かす－琵琶湖いきものイニシアティブを中心に－ 【講師】結・社会デザイン事務所 代表 菊池 玲奈 氏
ショート プレゼンテーション	地域での環境保全活動の中で企業の果たせる役割 【講師】株式会社ブリヂストン 彦根工場
対談	「関西における生物多様性戦略の展望」 関西広域連合長／兵庫県知事 井戸 敏三 氏 関西広域連合 広域環境保全担当委員／滋賀県知事 嘉田 由紀子 氏 【司会進行】兵庫県立人と自然の博物館館長 岩槻 邦男

◆関連レポートのご紹介（<http://www.murc.jp/politics_c1/pol_report/>にて公開）

当社では、「政策研究レポート」として生物多様性をはじめ、環境問題に対する様々な提言を行っています。

- [生物多様性特集](#)
 - ・[国内において必要な生物多様性保全活動とは？](#)
 - ・[なぜ、いま、生物多様性か？](#)
 - ・[農林業振興に生物多様性保全はなぜ必要か？](#)
- [成果志向の社会貢献活動～注目されるベンチャーフィランソロピー～](#)
- [気候変動と生物多様性～その議論の経緯と今後について](#)
- [気候変動抑制に向けた MRV\(測定・報告・検証\)の国際枠組み構築に関する現状と課題](#)
 - ・[REDD プラス実施の際の MRV システムの考え方](#)
 - ・[MRV に関する支援のあり方](#)
 - ・[MRV に関する議論の概要と展望](#)
- [農山村・農林業の人材育成政策最前線～EU に学ぶ処方箋](#)
 - ・[人をつなぐ”コーディネーター”の育成が農山村地域の再生を導く](#)
 - ・[EUにおける農村振興施策の成功要因について～人材育成を大切にしたLEADER事業の事例から～](#)
 - ・[これからの日本の農業人材育成～志ある若い人材が農業に定着できる仕組みづくり～](#)
 - ・[日本林業再生の基盤となる人材育成 ～日本型フォレスターを必要とするシステムへの改変を～](#)

◆ 兵庫県立人と自然の博物館

愛称『ひととく』。貴重な資料標本と優れた研究者などが核となり、生涯学習に機能的に対応できる「人と自然の共生博物館」を目指す。地域の自然・環境情報の一元管理をすすめ、それらを活用した自然・環境に関する総合的なシンクタンク活動を組織的に実践しており、行政・企業などから生物多様性に関する研究を受託するなど、地方自治体、民間企業の生物多様性活動の支援も積極的な活動を展開。

URL : <http://hitohaku.jp>

館長 : 岩槻 邦男

所在地 : 兵庫県三田市弥生が丘六丁目

◆ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

三菱UFJフィナンシャル・グループの総合シンクタンク。東京・名古屋・大阪の3大都市を拠点に、国内外のあらゆる分野の課題に対応できる多彩な人材を配し、総合的な視点から、コンサルティング、政策研究、国際関係業務、マクロ経済分析、教育研修など幅広い事業分野において多様なサービスを展開。同社の基幹業務を担う政策研究事業本部は、国や自治体等の政策立案支援等の機能を持ち、地域に密着した企業や行政との幅広いネットワークにより、ソリューションとコンサルティングを提供。

URL : <http://www.murc.jp>

創立 : 1985 年 10 月

資本金 : 20 億 6 千万円

代表者 : 代表取締役会長 大西 由辰

代表取締役社長 水野 俊秀

代表取締役副社長 湊 明彦

事業所 : [本 社] 東京都港区虎ノ門五丁目 11 番 2 号 オランダヒルズ森タワー

[名古屋] 名古屋市中区錦三丁目 20 番 27 号 御幸ビル

[大 阪] 大阪市中央区今橋二丁目 5 番 8 号 トレードピア淀屋橋

◆ 西日本自然史系博物館ネットワーク

環瀬戸内地域(中国・四国地方)自然史系博物館ネットワーク推進協議会が NPO 法人化し、西日本自然史系博物館ネットワークと改称(2004 年 4 月 27 日付けで認証)。21 世紀の日本における自然史系博物館が社会に果たすべき役割の重要性と潜在的可能性を再認識し、自然史系博物館を活用した市民学習の支援、自然科学の振興、自然環境管理に必要な基礎情報の収集と研究、博物館と諸機関・諸団体との広汎な連携の構築といった諸課題を推進するとともに、併せてまちづくり、国際交流及び情報化社会の発展にも寄与することを目的として設立。

URL : <http://www.naturemuseum.net/>

理事長 : 山西良平(大阪市立自然史博物館 館長)

事務所 : 大阪市東住吉区長居公園一丁目 23 番